



## 「新しい学校様式」

新年あけましておめでとうございます。

さて、恒例の箱根駅伝競走大会。今年開催には様々な意見があり、当然困難を乗り越えての運営、チーム参加であったに違いありません。

インタビューに答える選手は口々に「開催への感謝」の意を伝え、コロナ禍での思うようにならない現実と向かい合いながら、工夫と努力を重ねてきたことへの喜びを語っているように思いました。

なかでも注目したのは、これまで当たり前とっていた練習環境が、当たり前でなくなった現実を受け止め、競技が出来ることへの感謝の気持ちと、これまでとは違ったトレーニングを工夫することで成果につながっていった喜びが伝わってきたことです。「これなら、もっと工夫と努力を重ねれば成果が出る」とも語っていました。つまり、新しい視点で創意工夫することで「超えていくこと」が出来る、楽しい、そして感謝・・・へとつながっているように思いました。

昨年の休校期間での子どもたちの声・・・友達と会えない、部活ができない・・・etc.

子どもたちは決して、「学習をしたくない」わけではなく、子どもそれぞれには学習するために欠かせないものがあるということでしょう。

「断捨離」という言葉が一昔前流行りましたが、今こそ「教育の断捨離」を意識する時なのかもしれません。断捨離の意味とは……。

- 「断」＝入ってくる不要なモノを断つ
- 「捨」＝不要なモノを捨てる
- 「離」＝モノへの執着から離れる

例えば、モノが増えてきたから捨てれば良い、ではなくて、自分にとって「本当に必要なもの」を見つめ直そうとするのが断捨離です。

丑年にちなんで、結果を求めるよりも、準備の一年。箱根を目指したチームが1年間取り組んできたような、過去にとらわれず、不要なものを見極め、必要なものを大切に、新たな成果を呼び込む取組をしていくこと。学校の教育活動でも可能ではないでしょうか？

新しいことに取り組むためには「余裕」が必要です。「教育の断捨離」によって生み出した空間へ「新しい学校様式」を生徒・家庭・地域・学校で創造し、取り組んでいきましょう。

今年も善行中学校をよろしく願いいたします。



## 「善行トピックス」



藤田先生が相談室の塗り換えをしてくださっています。とても明るくなって、気分も上がります。とてもありがたいです。

## 1月・2月の主な予定 ※緊急事態宣言・感染状況で変更があります

1/20 (水) 1年 日帰りスキー	2/11 (木) 私立高校合格発表
1/25～29日 (金) 授業参観期間	2/15 (月) 公立高校入試 (学力)
1/28 (木) 2年 横浜研修	6組 お別れ遠足
2/ 1 (月) 3年 学年末試験	2/16～17 (水) 面接、特色検査
2/ 4 (木) 新入生保護者説明会	2/17～19 (金) 1.2年学年末試験
2/10 (水) 私立高校一般入試	2/22 (月) 公立高校追検査